

初等教育学科

(国語表現力は平成23年度入学生適用)

| | |
|--------|---|
| 人材育成目標 | 教育に関する専門的な知識や技能を修得し、主体性と協同性を持った逞しい実践力のある人材の育成 |
|--------|---|

| 目標達成に必要な能力 | 教育に関する専門的な知識 | 教育に関する専門的な技能 | 国語表現力 | 課題解決力 | あすなる力 |
|------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|
|------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|

| | | | | | |
|----------------------------|--|---|---|--|---------------------------|
| 専門的教育科目 (3・4年次) | 教育に関する専門的な知識について の学びを深めることができる。 | 教育の理論と実践を繋げ、論理的に思考し、適切に対応していく技能を身につけることができる。 | 教育活動の創造のために、国語表現力を生かすことができる。 | 課題を総合的に把握し、適切に解決することができる。 | 将来に向けて自己を積極的に高めていくことができる。 |
| | 障害児保育 人間関係 児童保健 小児保健 幼児教育の研究 認知心理学 社会心理学 臨床心理学 心理学測定法 青年心理学 心理学研究法 学校教育相談 児童心理学 家政学概論 児童言語 教育情報学 人権教育 教育制度学 特別支援教育 | 人間関係演習 体育Ⅱ 図画工作Ⅱ 表現Ⅱ 言葉Ⅱ 乳児保育Ⅱ 教職実践演習 教育実習Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 教育実習Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育方法及び技術指導 家庭科教育法 音楽家教育法 学校経営論 保育実践研究 | 日本語学講義 日本語文章論 日本語の音声 日本文学講義 こどもと文学 漢文学概論 表象文化と日本文学Ⅰ | 卒業研究(卒業論文+専修によっては制作・演奏) 教育・心理・幼児教育・教科教育学演習Ⅳ 教育・心理・幼児教育・教科教育学演習Ⅲ 現代教養科目A・B・C・D | 人生論 |

| | | | | | |
|----------------------------|---|---|--|--|--|
| 基礎的教育科目 (1・2年次) | 教育に関する専門的な知識の基礎を身につけることができる。 | コミュニケーション力や判断力を高め、教育に関する専門的な技能の基礎を身につけることができる。 | 国語表現力の基礎を身につけることができる。 | 問題意識を持って課題を分析することができるようになる。 | 自己を認識し、多様な観点から人生を設計できる。 |
| | 日本国憲法 生活概論 社会科概論 数学概論 教育方法学 教育史 教育原理 学習支援プログラム | 情報機器の操作Ⅰ・Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 運動学演習Ⅰ・Ⅱ 表現Ⅰ 言葉Ⅰ 健康Ⅰ・Ⅱ 乳児保育Ⅰ 数学演習 野外活動 音楽Ⅰ・Ⅱ 理科Ⅰ・Ⅱ 体育Ⅰ 図画工作Ⅰ 書写書道演習 幼児の相談事例研究 幼児教育課程論 児童福祉 保育原理 学習心理学 発達心理学 教育心理学 心理学概論 学習支援プログラム | 教育実習Ⅶ 体育科教育法 図画工作科教育法 理科教育法 算数科教育法 社会科教育法 国語科教育法 外国語活動 生徒・進路指導論 特別活動指導法 道徳教育指導法 学習支援プログラム | 日本語のしくみ 国語概論 日本語の文字と語彙 日本語学演習 日本語学概論 日本文学の歴史 日本文学演習 日本文学概論 学習支援プログラム | 教育・心理・幼児教育・教科教育学演習Ⅱ 教育・心理・幼児教育・教科教育学演習Ⅰ 文教学入門 人間科学入門 学習支援プログラム |

| | | |
|-----------|-----------------|---------------|
| 入学時学力とクラス | 基礎学力に対応した学習支援体制 | 目標意識を喚起する学習支援 |
|-----------|-----------------|---------------|

* 赤色は専門必修科目、黒色は専門選択科目(太字は推奨科目)、緑色は複数目標科目、青色は教養科目群、紫色は学科専門教育科目以外の教職科目、下線があるものは学科基礎科目

人間福祉学科

人材育成目標 誰もが安心して生き生きと暮らすことができる、福祉社会を支える知識技能をもった心豊かな人材を育成する。

| 目標達成に必要な能力 | 福祉のしくみ・制度の理解 | コミュニケーション能力 | 援助技術 | 人間理解 | 課題解決力 | あすなる力 |
|--------------------|---|--|--|---|--|--|
| 専門的教育科目 (3・4年次) | 現代社会と福祉の諸問題について課題をもち追究することができる。 | 対人援助に必要なコミュニケーション能力を身につけることができる。 | 対人援助の実践的な知識・技能を身につけることができる。 | 対人援助のための医学・心理学的理解ができる。 | 課題を総合的に把握し適切に解決することができる。 | 将来に向けて自己を積極的に高めたいことができる。 |
| | <p>現代社会と福祉 福祉行財政と福祉計画 地域福祉の理論と方法 社会調査の基礎 精神保健福祉実践論 就労支援サービス 保健医療サービス 低所得者に対する支援と生活保護制度 精神保健福祉論 児童や家庭に対する支援と児童・家庭支援制度 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 高齢者に対する支援と介護保険制度 福祉サービスの組織と経営 社会保障 権利擁護と成年後見制度 更生保護制度</p> | <p>介護実習Ⅲ 精神保健福祉援助実習 相談援助実習 精神保健福祉援助演習 相談援助演習Ⅱ・Ⅲ</p> | <p>心理検査法 養護内容(社会的養護内容) 音楽療法演習 生活支援技術Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 介護実習Ⅲ 介護総合演習Ⅲ 介護過程Ⅲ 介護の基本Ⅲ・Ⅳ 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助演習 精神保健福祉援助技術各論 相談援助実習 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助演習Ⅱ・Ⅲ 相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ ケアマネジメント</p> | <p>発達と老化の理解 精神保健学 福祉工学 カウンセリング 臨床心理学 精神科リハビリテーション学 精神医学</p> | <p>卒業研究 地域福祉の理論と方法 社会調査の基礎 介護実習Ⅲ 精神保健福祉援助実習 相談援助実習 人間福祉特講Ⅰ・Ⅱ 人間福祉専門演習Ⅱ・Ⅲ</p> <p>現代教養科目A,B,C,D</p> | <p>介護実習Ⅲ 精神保健福祉援助実習 相談援助実習 人間福祉特講Ⅰ・Ⅱ</p> <p>人生論</p> <p>(国家試験対策講座)</p> |
| 基礎的教育科目 (1・2年次) | 現代社会と福祉の諸問題について理解することができる。 | 自己理解・自己覚知を深めることができる。 | 対人援助の基礎的な理解を深めることができる。 | 医学・心理学の基礎的な内容の理解ができる。 | 問題意識を持って課題を分析することができる。 | 自己を認識し、多様な観点から人生を設計できる。 |
| | <p>家族社会学(家庭支援論) 養護原理 (社会的養護) 保育原理 社会の理解 子どもの理解 認知症の理解 障害の理解 相談援助の基礎と専門職 社会理論と社会システム 社会福祉の歴史 人間の尊厳と自立</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>介護実習Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション技術 相談援助演習Ⅰ 人間関係とコミュニケーション 人間科学基礎演習</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>音楽療法概論Ⅰ・Ⅱ 介護基礎技術 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助演習Ⅰ 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ 介護実習Ⅰ・Ⅱ 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ 介護過程Ⅰ・Ⅱ 介護の基本Ⅰ・Ⅱ 相談援助の基礎と専門職 人間の尊厳と自立</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>発達心理学 こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 人体の構造と機能および疾病の理解 心理学理論と心理的支援 子どもの理解 認知症の理解 障害の理解 人間の尊厳と自立</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>介護実習Ⅰ・Ⅱ 人間福祉専門演習Ⅰ 人間科学基礎演習 人間科学入門 文教学入門</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>介護実習Ⅰ・Ⅱ</p> <p>インターンシップ キャリア形成概論Ⅰ・Ⅱ キャンパスライフプランニング</p> <p>育心力プロジェクト</p> |
| 入学時学力とクラス | 基礎学力に対応した学習支援 | | | | | 目標意識を喚起する学習支援 |

* 赤色は専門必修科目、黒色は専門選択科目(大字は推奨科目)、緑色は複数目標専門科目、青色は教養科目群
 (注)この履修モデルは、平成21年度入学生から適用されます。平成23年度入学生より()内の科目名となります。

| | | | | |
|----------------------------|---|---|---|--|
| <p>人材育成目標</p> | <p>心身の健康に関する専門的な知識や技能を身につけた、リーダーとして地域に貢献できる人材の育成</p> | | | |
| <p>目標達成に必要な能力</p> | <p>心理学的支援力</p> | <p>キャリア アダプタビリティ</p> | <p>課題解決力</p> | <p>あすなる力</p> |
| <p>専門的教育科目 (3・4年次)</p> | <p>所属コースに応じた心理学的支援ができる。</p> <p>卒業研究 心理学専門演習Ⅳ 心理学専門演習Ⅲ 心理学専門演習Ⅱ 心理学専門演習Ⅰ 生涯発達心理学 家族心理学 精神科リハビリテーション学 ライフサイクルの臨床心理学</p> <p>対人支援総合演習Ⅱ 対人支援総合演習Ⅰ 対人サポート演習Ⅱ 対人サポート演習Ⅰ ストレスコーピング演習 キャリアカウンセリング 職場のメンタルヘルス コミュニティ心理学 社会福祉 レクリエーション演習 モチベーション心理学 健康実践論 生理心理学 健康心理学</p> <p>心理臨床実践論 学校臨床心理学 心理療法論Ⅱ 心理療法論Ⅰ 心理アセスメントⅣ 心理アセスメントⅢ 心理アセスメントⅡ</p> | <p>職場で求められる知識・技能を適切に発揮できる。 集団の中で自らの役割を適切に発揮できる。</p> <p>卒業研究 心理学専門演習Ⅳ 心理学専門演習Ⅲ 心理学専門演習Ⅱ 心理学専門演習Ⅰ 対人支援総合演習Ⅱ 対人支援総合演習Ⅰ 対人サポート演習Ⅱ 対人サポート演習Ⅰ キャリアカウンセリング キャリア開発演習Ⅱ 色彩心理学 消費者心理学 環境心理学 組織心理学</p> <p>健康実践論 健康心理学</p> <p>スキル教育科目群 キャリア形成科目群</p> | <p>課題を総合的に把握し適切に解決することができる。</p> <p>卒業研究 心理学専門演習Ⅳ 心理学専門演習Ⅲ 心理学専門演習Ⅱ 心理学専門演習Ⅰ 対人支援総合演習Ⅱ 対人支援総合演習Ⅰ 対人サポート演習Ⅱ 対人サポート演習Ⅰ 心理学研究法 心理学統計法Ⅲ 心理学統計法Ⅱ</p> <p>現代教養科目A.B.C.D</p> | <p>将来に向けて自己を積極的に高めていくことができる。</p> <p>卒業研究 心理学専門演習Ⅳ 心理学専門演習Ⅲ 心理学専門演習Ⅱ 心理学専門演習Ⅰ キャリア開発演習Ⅱ 心理学外書講読Ⅳ 心理学外書講読Ⅲ 心理学外書講読Ⅱ 心理学外書講読Ⅰ 人生論</p> |
| <p>基礎的教育科目 (1・2年次)</p> | <p>日常生活に即した人間行動の基礎的理解ができる。 カウンセリングマインドを持ったかわり方ができる。</p> <p>日常生活のシミュレーションゲーム 心理臨床学演習 健康・社会心理学演習 心理アセスメントⅠ 心理テスト カウンセリング論 臨床心理学 人間関係・コミュニケーション 社会心理学 発達心理学 認知心理学 学習心理学 心理学概論</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>上手に他者とのコミュニケーションができる。 集団や組織についての基礎的理解ができる。</p> <p>キャリア開発演習Ⅰ キャリア発達論 心理臨床学演習 健康・社会心理学演習 人間関係とコミュニケーション 社会心理学 心理学基礎演習B 心理学概論</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>問題意識を持って課題を分析することができる。 心理学的思考に必要な基礎的技能を発揮できる。</p> <p>心理学実験 心理学調査法 心理学統計法Ⅰ 心理学情報処理演習 心理学基礎演習A 人間科学基礎演習 人間科学入門 文科学入門</p> <p>学習支援プログラム</p> | <p>自己を認識し、多様な観点から人生を設計できる。 自律学習に向けた基礎的な技能を発揮出来る。</p> <p>キャリア開発演習Ⅰ キャリア発達論 インターンシップ キャリア形成概論Ⅱ キャリア形成概論Ⅰ キャンパスライフプランニング</p> <p>育心力プロジェクト</p> |
| <p>入学時学力とクラス</p> | <p>基礎学力に対応した学習支援体制</p> | | <p>目標意識を喚起する学習支援</p> | |

* 赤色ゴシックは専門必修科目、黒色は専門選択科目(太字ゴシックは推奨科目)、緑色は複数目標専門科目、青色は教養教育科目

人間栄養学科

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 人材育成目標 | 「人の健康及び食に関する専門的な知識や技術と豊かな人間性を身につける」 |
|--------|-------------------------------------|

| | | | | | |
|------------|-------------|-----|-------|--------|-------|
| 目標達成に必要な能力 | 専門知識や技術の理解力 | 実践力 | 課題解決力 | 豊かな人間力 | あすなる力 |
|------------|-------------|-----|-------|--------|-------|

| | | | | | |
|--------------------|--|---|--|---|---|
| 専門的教育科目 (3・4年次) | 多様化した高度な専門知識と技術を身に付けるとともに、管理栄養士国家試験に現役で合格する学力を身につけることができる。 | 管理栄養士・栄養士の業務を現場体験し、それを補う講義や実習により実践力を身につけることができる。 | 自ら立てた課題を適切に解決することができる。 | 豊かな人間性を身につけた管理栄養士・栄養士として社会に貢献できる。 | 将来に向けて自己を積極的に高めていくことができる。 |
| | 総合専門演習 公衆栄養学実習 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学Ⅰ 応用栄養学実験 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅰ ライフステージ栄養学 基礎栄養学Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ | 人間栄養学特論Ⅴ 人間栄養学特論Ⅳ 栄養管理と薬物療法 ケアマネージメント 病態栄養生理学 臨床栄養学実習Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 病理病態学Ⅱ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅰ | 臨地実習指導Ⅰ 給食経営管理臨地実習 給食運営臨地実習 フードマネージメント 給食経営管理実習 食品加工実習 食品加工学 | 卒業研究 臨地実習指導Ⅱ 臨地実習指導Ⅰ 給食経営管理臨地実習 公衆栄養臨地実習 臨床栄養臨地実習Ⅱ 臨床栄養臨地実習Ⅰ 給食運営臨地実習 現代教養科目A.B.C.D | 卒業研究 臨地実習指導Ⅱ 臨地実習指導Ⅰ 給食経営管理臨地実習 公衆栄養臨地実習 臨床栄養臨地実習Ⅱ 臨床栄養臨地実習Ⅰ 給食運営臨地実習 現代教養科目A.B.C.D |

| | | | | | |
|--------------------|---|---|--|--|--|
| 基礎的教育科目 (1・2年次) | 管理栄養士・栄養士としての基礎・基本となる幅広い知識と技術を身に付けることができる。 | 管理栄養士・栄養士として現場に必要な知識や技術を身に付けることができる。 | 初年次から自立して学習する習慣を身に付けることができる。 | 低学年から学科の伝統を継承した豊かな人間性を身につけることができる。 | 初年次から各職場における管理栄養士・栄養士業務を理解できる。 |
| | 食品学各論 食品学実験 病理病態学Ⅰ 病理学 生化学実験Ⅱ 生化学実験Ⅰ 生化学Ⅱ 解剖生理学実習 解剖生理学Ⅱ 公衆衛生学実験 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学Ⅰ | 人間栄養学特論ⅢⅢ 人間栄養学特論Ⅱ 人間栄養学特論Ⅰ 生化学Ⅰ 基礎生化学 解剖生理学Ⅰ 基礎解剖学 食品学総論 食品化学 学習支援プログラム | 給食経営管理各論 給食経営管理総論 栄養教育論Ⅰ 栄養情報処理演習 食品衛生学実験 食品衛生学 応用調理学実習 調理学 | 栄養教育実習Ⅰ 基礎調理学実習Ⅱ 基礎調理学実習Ⅰ 人間栄養学特論ⅢⅢ 人間栄養学特論Ⅱ 人間栄養学特論Ⅰ | 基礎生化学 基礎解剖学 食品化学 人間栄養学特論Ⅱ 人間栄養学特論Ⅰ 栄養教育実習Ⅰ 栄養教育論Ⅰ 学習支援プログラム |

| | | |
|-----------|------------------|---------------|
| 入学時学力とクラス | 理科基礎力に対応した学習支援体制 | 目標意識を喚起する学習支援 |
|-----------|------------------|---------------|

* 赤色は専門必須科目、黒色は専門選択科目、緑色は複数目標専門科目、青色は教養科目群

グローバルコミュニケーション学科の目標と履修モデル

| 人材育成目標 | 実践的な英語力を身につけ、グローバルな視野で幅広いものの見方・考え方ができる自立した女性の育成 | | | | |
|---|---|--|--|---|-------|
| 目標達成に必要な能力 | 実践的英語力 | コミュニケーション力 | ビジネスセンス | 課題解決力 | あすなろ力 |
| <p>グローバル化する現代社会の中で活躍するために、日常生活やビジネスなどの場面で、英語を適切に使いこなすことができる。</p> <p>TOEICで600点以上の成績をとることができる。(上位860点以上を目指す)</p> <p>Academic I II Hospitality I II E.P.Culture I II Education I II 児童英語教育実習 Business I II 児童英語指導法 Tourism I II 英語学講義 ICS III IV 英語ディスコース Ew V VI VII VIII 英語の音声</p> | <p>日本の文化や異文化の理解に基づいて、日常生活やビジネスなどの場面で、多様なコミュニケーションスキルを活用できる</p> <p>マルチメディア I WEB演習 II 英米文学史 英米文学講義 日本語の表現 日本語の音声 日本文化論 漢字文化圏論</p> | <p>ビジネスの基礎知識・技能・姿勢を、自らが選択した専門分野で活用することができる。</p> <p>産業心理学 起業研究 e-ビジネス 旅行業概論 観光産業論 観光地理学 I II ロジスティックスの基礎 ファイナンスの基礎</p> | <p>グローバル化する現代社会が抱える課題を総合的に把握し、適切に解決することができる。</p> <p>Hospitality I II Business I II Tourism I II</p> <p>卒論指導 総合演習 I II 国際社会と日本の役割 現代教養科目A/B/C/D</p> | <p>専門性を活かした職業に就くことができるとともに、将来必要となる専門知識や技術について自立的に学習していくことができる。</p> <p>産業心理学 起業研究 e-ビジネス 旅行業概論 観光産業論</p> <p>キャリアPS基礎・応用 人生論</p> | |
| <p>日常生活に関して、基本的な英語表現(4技能)ができる。</p> <p>TOEICで500点以上の成績をとることができる。(上位600点以上を目指す)</p> <p>言語習得論 児童英語入門 英語学研究 英語学概論 TOEIC I II (AB/CD) ICS I II (AB/CD) WS I II III IV (AB/CD) RS I II III IV (AB/CD) 英基礎演習 I II (AB/CD) BEC I II (AB/CD) Ec I II III IV (AB/CD) Ew I II III IV (AB/CD)</p> | <p>自国の文化や異文化を理解し、グローバル化する現代社会に必要なコミュニケーションスキルの基礎を身につけることができる。</p> <p>英米文学研究 英米文学概論 英語文化圏論 世界史の中の日本 日本語文章論・演習 マルチメディア I WEB演習 I 話しことば概論・演習 異文化理解 グローバル論</p> | <p>ビジネスの基礎知識・技能・姿勢を身につけることができる。</p> <p>ビジネス基礎IV ビジネス基礎III ビジネス基礎II ビジネス基礎I オフィスコミュニケーション I II</p> | <p>ものの見方、考え方の基礎を習得し、典型的な課題の分析手法や解決手段を身につけることができる。</p> <p>マルチメディア I WEB演習 I 日本語文章論・演習 話しことば概論・演習 クリティカルシンキング ロジカルシンキング コミュニケーションとソーシャルスキル 人間科学基礎演習 人間科学入門 文教学入門</p> | <p>自らが希望する進路を明確にし、その実現のための学習計画を立てることができる。</p> <p>英語ワールドワーク プレゼンテーション技法 ビジネス文書 インターンシップ キャリア形成概論 I・II キャンパスライフプランニング</p> | |
| <p>入学時学力とクラス</p> | <p>基礎学力に対応したクラス編成</p> | <p>基礎学力に対応した学習支援体制</p> | | <p>目標意識を喚起する学習支援</p> | |

* 赤色は専門必修科目、黒色は専門選択科目(太字は推奨科目)、緑色は複数目標専門科目、青色は教養科目群

人間科学部共通科目の目標と履修モデル

| | |
|--------|---|
| 人材育成目標 | 現実の問題を多面的に考える力や社会で必要となる基礎的なスキルを身につけ、現代社会をたくましく生きる力を身につけた女性の育成 |
|--------|---|

| 目標達成に必要な能力 | コミュニケーション力 | 情報活用力 | 課題解決力 | あすなる力 |
|------------|------------|-------|-------|-------|
|------------|------------|-------|-------|-------|

| | | | | |
|-----------|--|---|--|---|
| 専門的教育科目 | 英語やその他の外国語でコミュニケーションができる。 | 情報を適切に処理し、活用することができる。 | 課題を総合的に把握し適切に解決することができる。 | 将来に向けて自己を積極的に高めたいことができる。 |
| | 中国語Ⅳ 中国語Ⅲ 中国語Ⅱ 中国語Ⅰ ドイツ語Ⅳ フランス語Ⅳ ドイツ語Ⅲ フランス語Ⅲ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅱ ドイツ語Ⅰ フランス語Ⅰ イングリッシュワークショップⅧ イングリッシュワークショップⅦ イングリッシュワークショップⅥ イングリッシュワークショップⅤ | ソフトウェア概論 デザイン論 ウェブデザイン基礎演習Ⅰ ウェブデザイン基礎演習Ⅱ ウェブデザイン演習Ⅰ ウェブデザイン演習Ⅱ マルチメディア演習Ⅰ マルチメディア演習Ⅱ データベース 情報倫理 | 社会と生命科学 暮らしの科学 食の科学 からだの科学 暮らしの中の心理学 暮らしと経済 暮らしと法律 暮らしと社会福祉 現代思想と哲学 日本とヒロシマの歴史 文学を読む意味 言葉とコミュニケーション | 経営情報システム 企業経営と数理 マーケティング クリエイティブマネジメント 制作技法演習Ⅱ 制作技法演習Ⅰ 生涯スポーツ演習Ⅱ 生涯スポーツ演習Ⅰ 現代教養科目E領域 人生論 |
| 基礎的教育科目 | 英語での基本的なコミュニケーションができる。 | 情報の基本的な活用ができる。 | 問題意識を持って課題を分析することができる。 | 自己を認識し、多様な観点から人生を設計できる。 |
| | 障害者コミュニケーション技術 イングリッシュワークショップⅧ イングリッシュワークショップⅥ イングリッシュワークショップⅤ イングリッシュワークショップⅣ イングリッシュワークショップⅢ イングリッシュワークショップⅡ イングリッシュワークショップⅠ 英語コミュニケーションⅣ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅠ 自立学習支援プログラム | 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅰ 学習支援プログラム | フィールドワーク演習 人間科学基礎演習 人間科学入門 文教学入門 基礎学力支援プログラム | 現代教養科目E領域 プレゼンテーション技法 ビジネス文書 コミュニケーションとソーシャルスキル インターンシップ キャリア形成概論Ⅱ キャリア形成概論Ⅰ 運動学演習Ⅰ 運動学演習Ⅱ キャンパスライフプランニング 育心力プロジェクト |
| 入学時学力とクラス | 基礎学力に対応したクラス編成 | | 基礎学力に対応した学習支援 | |

* 赤色は必修科目、青色は選択必修科目(A,B,C,Dの4領域から1科目以上、計6科目12単位以上選択必修)

* 人間科学部共通の教養科目群の卒業要件は32単位で、60単位まで卒業単位として認められる。

●履修モデル

以下に教育学専攻の教育学コースと臨床心理学コースおよび人間福祉学専攻の履修モデルをそれぞれ示しておきます。これらは各専攻における履修の一例で、これらを参考にして各自の教育・研究目的にあわせて、研究指導教員と充分に相談の上、履修する科目を決めて下さい。

教育学専攻 教育学コース

履修モデル1：学校教育の教育課題に協働して解決していくことができる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教員を目指す者

| 1 年前期 | | | | 1 年後期 | | | |
|---------|----|----|---|-------------|----|----|---|
| 教育学史特論 | 講義 | 必修 | 2 | 教育心理学演習 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育社会学特論 | 講義 | 選択 | 2 | 学習心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育学特論 I | 講義 | 選択 | 2 | 障害者(児)心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育哲学 | 講義 | 選択 | 2 | 発達心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育制度学 | 講義 | 選択 | 2 | 教育方法学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 | 教育学特論 II | 講義 | 選択 | 2 |

| 2 年前期 | | | | 2 年後期 | | | |
|---------|----|----|---|-----------|----|----|---|
| 臨床心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 | 学校臨床心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育学特別研究 | | | | 演習 | 必修 | | 4 |

教育学専攻 臨床心理学コース

履修モデル2：地域社会に貢献できる臨床心理士を目指す者

| 1 年前期 | | | | 1 年後期 | | | |
|----------|----|----|---|----------|----|----|---|
| 臨床心理学特論 | | | | 講義 | 必修 | | 4 |
| 臨床心理面接特論 | | | | 講義 | 必修 | | 4 |
| 臨床心理査定演習 | | | | 演習 | 必修 | | 4 |
| 臨床心理基礎実習 | | | | 実習 | 必修 | | 2 |
| 発達心理学特論 | 講義 | 選必 | 2 | 心理療法論 II | 講義 | 選択 | 2 |
| 社会心理学特論 | 講義 | 選必 | 2 | 臨床心理研究法 | 講義 | 選択 | 2 |
| 心理療法論 I | 講義 | 選必 | 2 | | | | |

| 2 年前期 | | | | 2 年後期 | | | |
|-----------|----|----|---|-----------|----|----|---|
| 心理療法論 III | 講義 | 選択 | 2 | 学校臨床心理学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 教育学特別研究 | | | | 演習 | 必修 | | 4 |

人間福祉学専攻

履修モデル3：社会福祉分野の現場において指導的役割を担えるリーダーを目指す者

| 1 年前期 | | | | 1 年後期 | | | |
|-------------|----|----|---|--------------|----|----|---|
| 人間福祉特論 | 講義 | 必修 | 2 | 子ども家庭福祉特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 保健医療特論 | 講義 | 選択 | 2 | 地域福祉特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 高齢者福祉特論 | 講義 | 選択 | 2 | 保健・医療・福祉連携特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 障害者福祉特論 | 講義 | 選択 | 2 | 社会福祉調査研究特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 精神保健福祉特論 | 講義 | 選択 | 2 | 福祉工学特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 人間福祉職業論 | 講義 | 選択 | 2 | 食生活福祉特論 | 講義 | 選択 | 2 |
| 人間福祉学特論演習 I | | | | | 演習 | 必修 | 2 |
| 人間福祉学特別研究 I | | | | | 演習 | 必修 | 2 |

| 2 年前期 | | 2 年後期 | | |
|--------------|--|-------|----|---|
| 人間福祉学特論演習 II | | 演習 | 選択 | 2 |
| 社会福祉事例研究 | | 実習 | 必修 | 2 |
| 人間福祉学特別研究 II | | 演習 | 必修 | 2 |